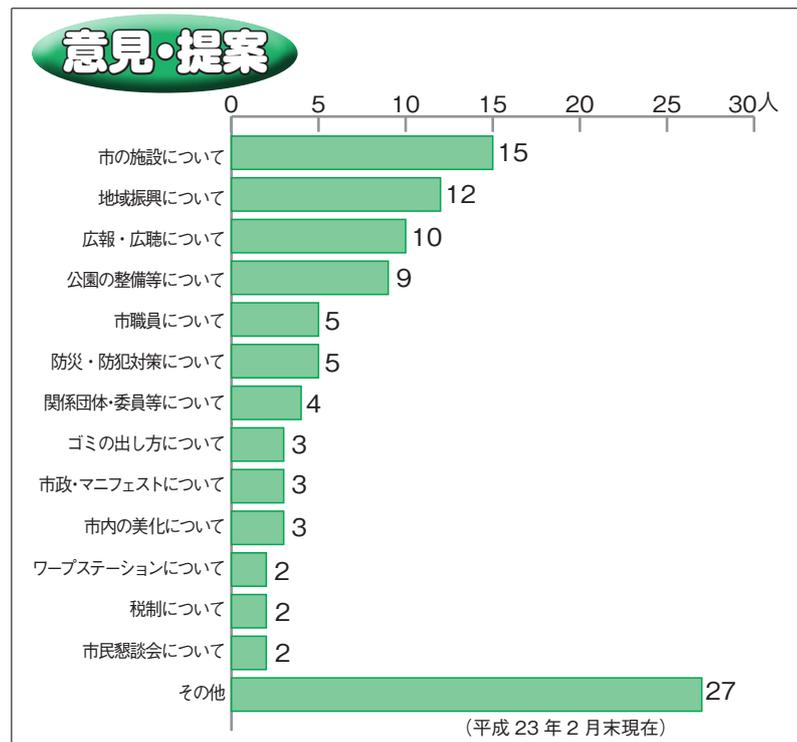


「市長への手紙」に寄せられた

皆さんの声を紹介します

問 秘書広聴課
☎58-2111
(内線1201・1202)

市では、より多くの市民の皆さんの声を市政に反映し、皆さんとともに、住みよいまちづくりを進めるため、昨年10月から封書やメールなどによる提案制度「市長への手紙」を取り入れています。皆さんからのお手紙は、市長が直接目を通し、市政の参考としています。これまでに、多数のご意見・ご提案などをいただきましたので、その中から一部を紹介いたします。ぜひ、これからのまちづくりには、皆さんのご意見をお寄せください。



【市民の声】

マル福の所得制限撤廃について

医療福祉制度（マル福）は、現在小学校3年生まで拡大されましたが、つくばみらい市では所得制限があり、利用できない家庭も多いと思います。

少子化対策をすすめるのであれば、所得制限をなくし、いつでも安心して病院に行けるようにしてもらいたいです。

【市長からの回答】

医療福祉費支給制度（マル福）は、小児・妊産婦・ひとり親家庭（母子家庭・父子家庭）・重度心身障害者などの所得の低い方を対象に、必要とする医療を容易に受けられるよう、医療保険で病院などにかかった場合の一部負担金相当額を公費で助成し、医療費の負担を軽減する制度です。

市では、県の医療福祉対策要綱に基づき所得制限を導入していますが、市独自で外来自己負担金の助成や妊産婦に対する対象疾病の拡大をし、経済支援を行っております。

ご要望の所得制限撤廃につきましては、私のマニフェストにも掲げさせていただいており、現在、撤廃の方向で3月市議会に關係条例および予算案を上げる予定で調整を進めています。

【市民の声】

みらい平地区の学校建設について

学校は、児童数の増加に応じて作られるそうですが、みらい平は今後も人口の増加が見込まれますので、早く学校を建設して欲しいと思います。

小学校を新設するメリットとして、「人口が増え、市内が活性化し、税収が増える」、「新設校なら、新しい教育法や施設の導入なども実施しやすい」といったことも考えられます。

【市長からの回答】

みらい平地区の学校建設については、茨城県の土地区画整理事業で3カ所の用地が用意されており、町村合併以前の計画であること、少子化の影響による学校の適正配置のこと、学

校の耐震化のことなどを考慮して、市としての方向性を見いだすべく試案を基に整理しているところであります。

この案がまとまり次第、義務教育施設適正配置審議会や、市議会の皆様に審議していただく予定です。

私としては、早急に結論を出す考えでいます。

【市民の声】

まちづくりについての取り組み

まちづくりには、観光ばかりではなく、いろいろな側面があります。市発展のカギは、民間活力の導入（創造的な発想と展開）が急務と考えます。

【市長からの回答】

これからの「まちづくり」においては、ご意見のとおり、「民間活力の導入（活用）」は非常に重要であり、課題でもあります。

近年、少子・高齢化の進行、余暇時間の増大などにより、行政はよりきめ細かな対応が必要になってきております。適切な市政運営を進めていくためには、市民・民間事業者・行政などが、それぞれどのような役割を担い、どのようにかかわっていくべきかを明確にすることが必要であると考えます。

そのようなか、これまで行政

意見・提案

あなたの声を市政に
市長への手紙

受付中